



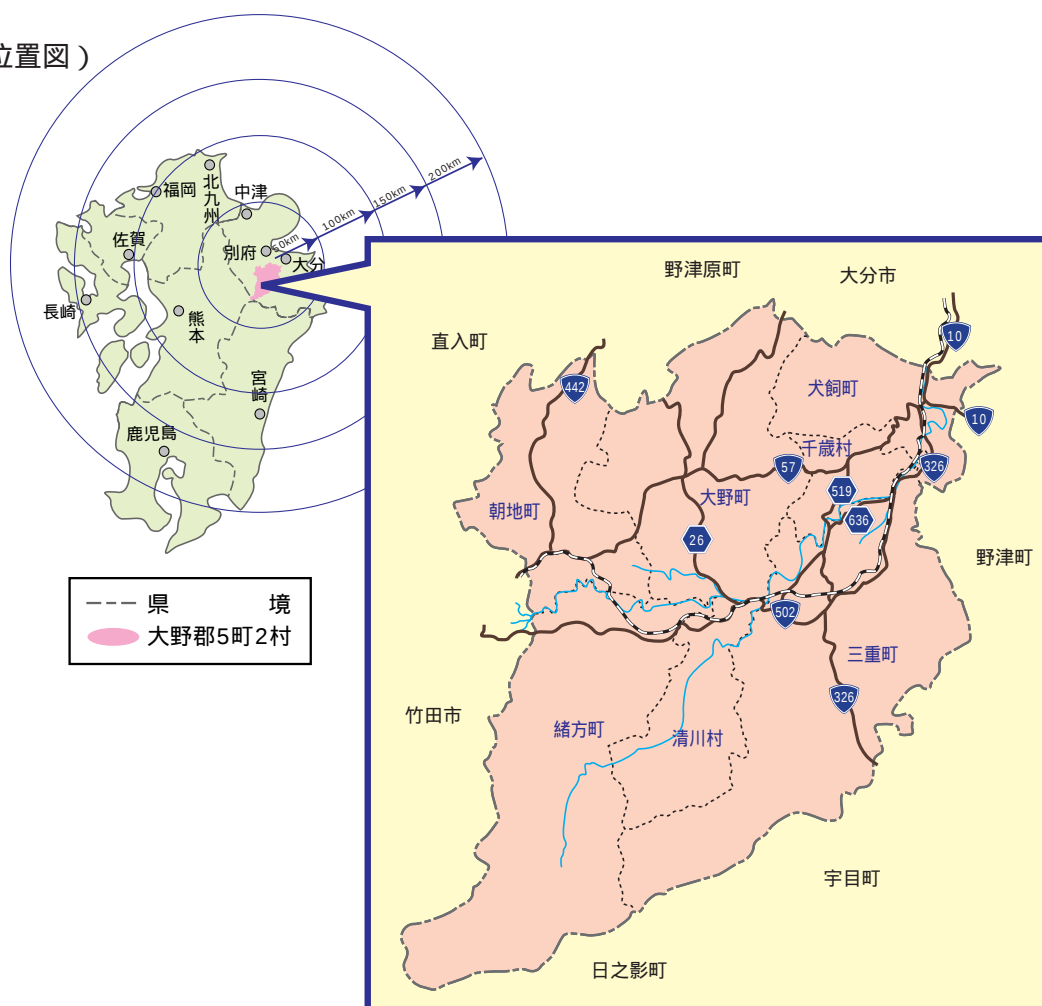
第2章 新市の概況

1. 位置と地勢

新市は、大分県の南西部、大野川の中・上流域に位置し、総面積は県土の9.5%にあたり、東部は大峠山、佩楯山、西部は阿蘇外輪山のすそ野、北部は神角寺・鎧ヶ岳、南は祖母・傾山、三国峠により囲まれ、盆地状をなしています。地形的、地理的には必ずしも恵まれてはいませんが、起伏に富み、かつ複雑な地形を活かすとともに、大小の河川を集めて別府湾に注ぐ大野川の豊かな水利があり、県内屈指の畑作地帯を形成しています。また、神角寺・芹川県立自然公園、祖母・傾県立自然公園、祖母・傾国定公園によって囲まれており、有形、無形の地域資源に恵まれた名水・田園・観光のふるさとでもあります。

気候は瀬戸内海型気候に属し、平地気候と山地気候のほぼ中間にあり、四季を通じておおむね温暖で、一部の山岳地帯を除いては、平坦地の平均気温は15～16℃と極めて農耕に適しており、古くから農業を基幹産業として発展してきました。

(位置図)





2. 面 積

新市は、東西約22km、南北約31km、全体面積は603.36km²であり、県土の9.5%を占めています。

面積を地目別に見ると、74.2%が林野で、耕地は11.8%、宅地はわずか1.5%となっています。

(大野郡5町2村の地目別面積)

(単位：ha)

町村名	耕 地		林 野			宅地	その他	合計
		うち田	山林	竹林	原野			
三 重 町	1,340	837	11,748	248	524	346	2,011	16,217
清 川 村	524	390	3,399	52	124	55	564	4,718
緒 方 町	1,710	1,480	10,955	235	208	135	1,553	14,796
朝 地 町	919	701	4,719	154	174	73	800	6,839
大 野 町	1,540	727	7,107	221	439	132	1,510	10,949
千 歳 村	523	301	996	57	57	89	421	2,143
犬 飼 町	570	308	3,059	149	129	90	677	4,674
合 計	7,126	4,744	41,983	1,116	1,655	920	7,536	60,336

資料：平成13年度大分県統計年鑑

3. 人口と世帯

平成12年の国勢調査では、大野郡5町2村の人口の合計は、43,371人で、昭和55年の人口51,975人と比較すると8,604人減少しています。増減率でみると16.6%減となっており、減少の一途を辿っている状況です。

なかでも、14歳以下の年少人口及び生産年齢人口の減少が著しく、年少人口の全人口に占める比率は昭和55年の18.7%から平成12年には12.2%と小さくなっており、生産年齢人口の全人口に占める比率は昭和55年の65.8%から平成12年には55.6%にまで小さくなっています。これに対して、65歳以上の老年人口の全人口に占める比率は、昭和55年の15.5%から平成12年には32.1%と2倍以上に大きくなっています。このようなことから、急速に少子・高齢化が進行していることがうかがえます。

世帯数については、昭和55年の14,875世帯に対し、平成12年には15,151世帯と微増しており、1世帯あたりの人員は減少傾向にあって、核家族化が進んでいるといえます。

産業別就業人口を産業構造別に見ると、平成12年の国勢調査では、第1次産業である農林業等が24.9%、第2次産業である建設・製造業等が24.5%、第3次産業である卸・小売



・サービス業等が50.5%となっています。高齢化や後継者不足から減少している第1次産業に対し、第3次産業の占める割合が高くなってきています。

(大野郡5町2村の人口と世帯数の推移)

(単位:人、世帯)

区 分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
総 人 口	51,975	50,011	47,034	45,191	43,371
総 世 帯 数	14,875	14,850	14,642	14,883	15,151
1世帯あたり人口	3.49	3.37	3.21	3.04	2.86

資料:国勢調査

(大野郡5町2村の年齢別人口)

(単位:人、%)

区 分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
総 人 口	51,975	50,011	47,034	45,191	43,371
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
年 少 人 口 (0～14歳)	9,751	8,968	7,660	6,300	5,312
	(18.7)	(17.9)	(16.3)	(14.0)	(12.2)
生 産 年 齢 人 口 (15～64歳)	34,188	32,068	29,043	26,404	24,126
	(65.8)	(64.1)	(61.7)	(58.4)	(55.6)
老 年 人 口 (65歳以上)	8,036	8,975	10,331	12,485	13,912
	(15.5)	(18.0)	(22.0)	(27.6)	(32.1)
不 詳	0	0	0	2	21
	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)

資料:国勢調査

(大野郡5町2村の就業人口)

(単位:人、%)

区 分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
就 業 者 数	27,605	25,916	23,936	23,159	21,880
	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
第 1 次 産 業	11,293	10,076	7,551	6,081	5,453
	(40.9)	(38.9)	(31.6)	(26.3)	(24.9)
第 2 次 産 業	5,565	5,236	5,982	6,289	5,358
	(20.2)	(20.2)	(25.0)	(27.2)	(24.5)
第 3 次 産 業	10,725	10,584	10,393	10,781	11,055
	(38.8)	(40.8)	(43.4)	(46.5)	(50.5)
分 類 不 能	22	20	10	8	14
	(0.1)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.1)

資料:国勢調査



4. 人口動態

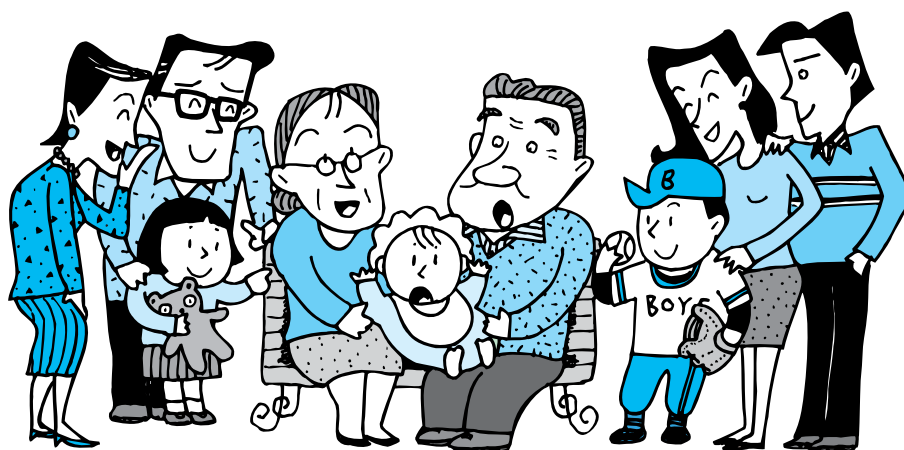
大野郡5町2村の人口動態に関し、昭和58年から5年刻みで調査結果を比較してみると、自然動態では、昭和58年の調査で出生数518人に対し、死亡数562人とその差は44人であったものが、平成15年の調査では出生数290人に対し死亡数615人と死亡数が出生数を325人も上回り、出生数の減少と死亡数の増加による自然減は、調査ごとに拡大傾向の状況にあります。

社会動態については、昭和63年の転入数1,706人に対し転出数2,227人と転出数が転入数を521人も上回っていたが、平成15年の調査では、転入数1,671人に対し転出数1,726人とその差は55人まで減少しており、社会減にほぼ歯止めがかかってきた状況です。

その原因を分析すると、社会動態に関しては、三重町における郊外型大型店の出店、民間業者によるアパート建設と分譲宅地の開発、その他の町村においては町村が主体となり実施した分譲宅地整備事業や公営住宅の整備等、定住促進対策を講じたことにより一定の成果があったといえます。

一方、自然動態については、少子化に歯止めがかかっていない現状となっています。少子化対策は、我が国を含め世界の先進諸国での大きな社会問題となっており、行政はもとより、社会全体で子育てを支援していくシステムが必要です。また、地方の中山間地域である大野郡5町2村にとっては、子どもを産む層である若者の定住も少子化に歯止めをかける極めて重要な地域の課題です。

そのため、新たな産業振興、企業誘致等による就業の場の確保、保育制度の充実等の子育て支援策を強力に推進するとともに、快適な生活環境の整備を図り、積極的に若者の定住策を講じることが重要です。





(大野郡5町2村の町村別人口動態 昭和58年～平成15年)

(単位：人)

町村名	年別	人口増減	自 然 増 減			社 会 増 減		
				出 生	死 亡		転 入	転 出
三重町	S58年	△172	28	206	178	△200	1,002	1,202
	S63年	△162	△7	177	184	△155	868	1,023
	H 5年	△2	△50	137	187	48	938	890
	H10年	△42	△64	162	226	22	945	923
	H15年	△74	△72	165	237	△2	918	920
清川村	S58年	△67	△21	18	39	△46	120	166
	S63年	△77	△3	23	26	△74	76	150
	H 5年	△80	△20	22	42	△60	65	125
	H10年	△22	△17	13	30	△5	68	73
	H15年	△10	△18	18	36	8	77	69
緒方町	S58年	△113	△33	71	104	△80	350	430
	S63年	△198	△46	52	98	△152	187	339
	H 5年	△111	△61	37	98	△50	234	284
	H10年	△139	△88	39	127	△51	200	251
	H15年	△45	△86	25	111	41	242	201
朝地町	S58年	△43	△15	44	59	△28	187	215
	S63年	△55	△4	32	36	△51	103	154
	H 5年	△60	△41	20	61	△19	124	143
	H10年	△46	△34	23	57	△12	122	134
	H15年	△35	△33	20	53	△2	86	88
大野町	S58年	△50	△13	74	87	△37	264	301
	S63年	△52	△30	54	84	△22	206	228
	H 5年	△112	△44	33	77	△68	145	213
	H10年	△104	△58	26	84	△46	142	188
	H15年	△94	△73	24	97	△21	141	162
千歳村	S58年	△2	2	39	37	△4	133	137
	S63年	△46	△18	23	41	△28	78	106
	H 5年	22	△2	18	20	24	142	118
	H10年	△17	△14	18	32	△3	104	107
	H15年	△48	△9	16	25	△39	76	115
犬飼町	S58年	4	8	66	58	△4	243	247
	S63年	△32	7	56	49	△39	188	227
	H 5年	△66	△6	42	48	△60	163	223
	H10年	△75	△22	31	53	△53	115	168
	H15年	△74	△34	22	56	△40	131	171
合 計	S58年	△443	△44	518	562	△399	2,299	2,698
	S63年	△622	△101	417	518	△521	1,706	2,227
	H 5年	△409	△224	309	533	△185	1,811	1,996
	H10年	△445	△297	312	609	△148	1,696	1,844
	H15年	△380	△325	290	615	△55	1,671	1,726

資料：毎月流動人口調査報告（大分県）